

# I-1 日本人の旅行市場の概況

## 1 旅行者数

日本人の旅行平均回数 国内宿泊旅行2.30回、  
国内日帰り旅行2.14回、海外旅行0.15回

日本人の旅行市場を「国内宿泊旅行」「国内日帰り旅行」「海外旅行」の3つに大きく分け、旅行者数を概観する。

### ●旅行平均回数

2018年の日本人の旅行平均回数は、国内宿泊旅行全体では2.30回/人、国内日帰り旅行全体では2.14回/人、海外旅行全体では0.15回/人であった。各旅行の観光、帰省、出張の内訳については、図I-1-1左を参照。

### ●平均泊数

2018年の日本人の旅行における平均泊数は、国内宿泊旅行全体では2.21泊/人回、海外旅行全体では5.59泊/人回で

あった。各旅行の観光、帰省、出張の内訳については、図I-1-1右を参照。

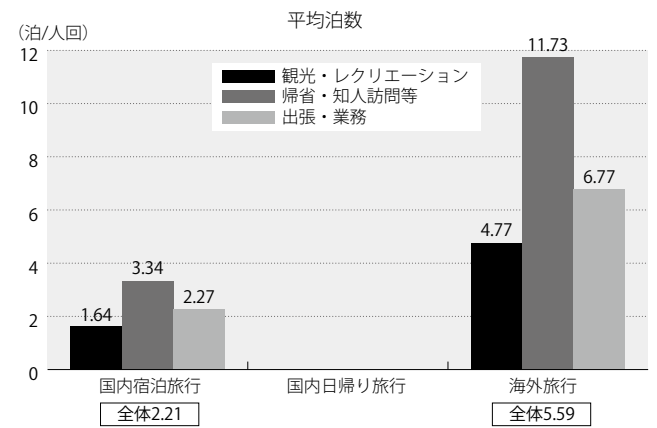
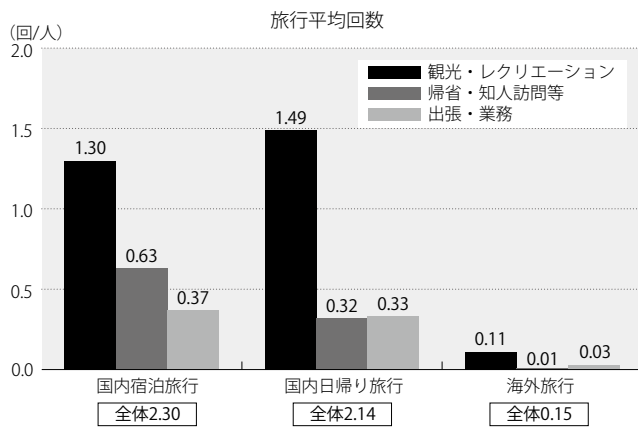
### ●延べ旅行者数

2018年の日本人の延べ旅行者数は、国内宿泊旅行全体では2億9,105万人回、国内日帰り旅行全体では2億7,073万人、海外旅行全体では1,891万人であった。いずれの旅行も、観光のシェアが5割から7割程度を占めた。また国内宿泊旅行のうち27.4%は帰省・知人訪問等、海外旅行のうち22.4%が出張・業務による旅行であった。(図I-1-2左)。

### ●延べ泊数

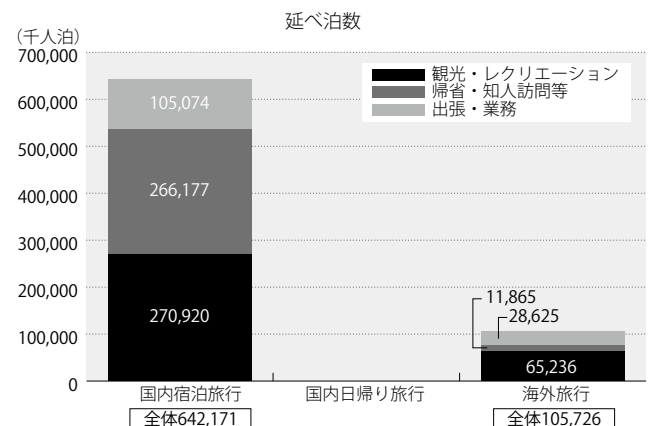
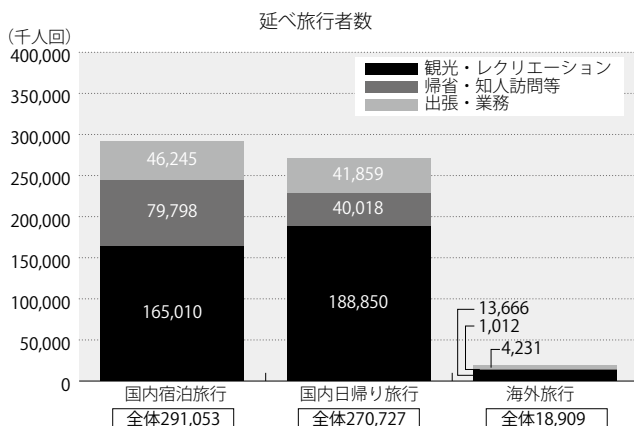
2018年の日本人の延べ泊数については、国内宿泊旅行全体では6億4,217万人泊、海外旅行全体では1億5,726万人泊であった。延べ旅行者数と比較して、帰省のシェアが増加、観光のシェアは減少する傾向にある。(図I-1-2右)

図I-1-1 旅行平均回数および平均泊数 (2018年)



資料：いずれも観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

図I-1-2 延べ旅行者数および宿泊者の延べ泊数 (2018年)



資料：いずれも観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

## 2 旅行市場区分(全体)

旅行全体の約半分が個人で実施する観光旅行

### (1) 費用負担および旅行形態からみた旅行市場

第一に、旅行内容と旅行形態(団体・個人)に着目し、旅行市場を「個人で実施する観光旅行」「帰省や家事のための旅行」「組織が募集する団体旅行」「出張や業務旅行」「会社からみの団体旅行」「その他の旅行」の6種類に区分した。この6つの市場区分について、延べ旅行者数(単位:人回)をベースとしてそれぞれのシェアを算出すると、「個人で実施する観光旅行」が最も大きなシェアを占めていることが分かる。国内旅行では45.3%、海外旅行では41.6%が「個人で実施する観光旅行」であった。次点は国内・海外旅行ともに「出張や業務旅行」、第三位は「帰省や家事のための旅行」であった(表I-1-1)。

第二に、旅行市場の構造を「費用負担者」と「旅行形態」の2つの視点から検討した。

まず旅行の費用負担者として「個人負担」と「法人負担」を想定し、それぞれの占める割合を延べ旅行者数(単位:人回)ベースで算出した。国内旅行においては全体の66.3%が、海外旅行においては全体の60.9%が、個人負担により実施された旅行であった(表I-1-2)。

次に旅行形態として「個人旅行」と「団体旅行」を想定し、それぞれの占める割合を延べ旅行者数(単位:人回)ベースで算出した。国内旅行、海外旅行ともに、個人旅行が全体の7割から8割程度を占めた(表I-1-3)。

最後に、「費用負担者」と「旅行形態」の2つの軸によって、旅行市場を4つに区分した(図I-1-3、図I-1-4)。個人の費用負担によって行われる個人旅行が、国内旅行では62.4%、海外旅行では52.1%を占めた。

表I-1-1 旅行形態に着目した旅行市場区分シェア(2018年)

単位:(%)

市場区分	定義	国内旅行	海外旅行
個人で実施する観光旅行	個人で実施する観光旅行。スポーツ旅行。旅行会社のバック旅行に参加した場合も含める。	45.3	41.6
帰省や家事のための旅行	帰省や冠婚葬祭関連の旅行。(帰省ついでに行った観光旅行は観光・レクリエーション旅行)	17.1	10.5
組織が募集する団体旅行	町内、農協、郵便局、信金、宗教団体、サークルなどが募集する旅行。	3.9	8.7
出張や業務旅行	打合せや会議、視察目的の旅行。	22.0	21.5
会社からみの団体旅行	職場旅行や招待、報奨旅行。団体で行動する旅行。	4.1	8.9
その他の旅行	上記のいずれにもあてはまらない旅行。	7.6	8.8

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

表I-1-2 旅行費用の負担者別にみるシェア(2018年)

単位:(%)

費用負担者	市場区分	国内旅行	海外旅行
個人負担	個人で実施する観光旅行	66.3	60.9
	帰省や家事のための旅行		
	組織が募集する団体旅行		
法人負担	出張や業務旅行	26.1	30.4
	会社からみの団体旅行		
その他の旅行		7.6	8.8

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

表I-1-3 旅行形態別にみるシェア(2018年)

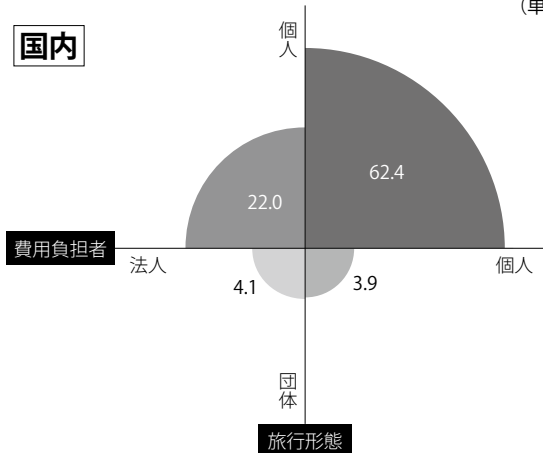
単位:(%)

旅行形態	市場区分	国内旅行	海外旅行
個人旅行	個人で実施する観光旅行	84.4	73.6
	帰省や家事のための旅行		
	出張や業務旅行		
団体旅行	組織が募集する団体旅行	8.0	17.6
	会社からみの団体旅行		
その他の旅行		7.6	8.8

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図I-1-3 国内旅行の負担者別・旅行形態別のシェア(2018年)

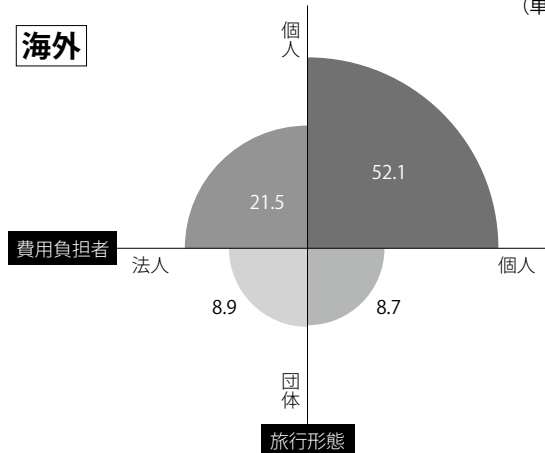
単位:(%)



資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図I-1-4 海外旅行の負担者別・旅行形態別のシェア(2018年)

単位:(%)



資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

### 3 旅行市場区分(観光レクリエーション)

夫婦・カップルの旅行シェアが最も高く約3割5分

#### (1) マーケットセグメント別の市場シェア

旅行は「誰と行くか」によって、内容が大きく左右される。特に家族旅行の場合、子どもの有無や年齢によって、旅行の内容は大きく変化する。そこで旅行マーケットのセグメンテーションとして、まず「旅行の同行者」を軸にして『家族旅行』

『夫婦・カップル旅行』『友人旅行』『ひとり旅』に大きく区分し、さらにその旅行者の「ライフステージ(配偶者や子供の有無、子供の年齢)」を軸として、17のセグメント(3世代家族旅行は除く)に細分化した。(表I-1-4)

セグメントごとのシェアを概観すると、国内旅行、海外旅行ともに、「夫婦・カップル旅行」のシェアが最も高かった。国内旅行においては「家族旅行」が、海外旅行においては「友人旅行」が、それぞれ次点となった。(表I-1-5)。

各セグメントに着目した詳細分析は、国内旅行は13~36ページ、海外旅行は37~56ページに掲載した。

表I-1-4 観光レクリエーション旅行の市場区分

マーケットセグメント		旅行の同行者	ライフステージ
家族旅行	乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行(小中高生を含まない)	子供連れ	乳幼児の子あり
	小中高生の子どもと一緒にの家族旅行(乳幼児連れも含む)	子供連れ	小中高生の子あり
	18歳以上のみの家族旅行	子供連れ	末子が18歳以上
	※内、3世代家族旅行	親を連れて 3世代で	— —
夫婦・カップル旅行	カップルでの旅行	カップルで	—
	夫婦での旅行(子どもなし)	夫婦で	子供なし
	子育て中の夫婦での旅行	夫婦で	末子が18歳未満
	子育て後の夫婦での旅行	夫婦で	末子が18歳以上
友人旅行	未婚男性による友人旅行	友人や知人と	未婚男性
	既婚男性による友人旅行(子どもなし)	友人や知人と	既婚男性・子供なし
	子育て中の男性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳未満
	子育て後の男性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳以上
	未婚女性による友人旅行	友人や知人と	未婚女性
	既婚女性による友人旅行(子どもなし)	友人や知人と	既婚女性・子供なし
	子育て中の女性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳未満
	子育て後の女性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳以上
ひとり旅	男性のひとり旅	自分ひとりで	男性
	女性のひとり旅	自分ひとりで	女性

※3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代の旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する。  
※16歳未満の旅行者はアンケート調査の対象となっていないため、上記シェアからは除外。

資料：(公財)日本交通公社作成

表I-1-5 観光レクリエーション旅行の市場区分別のシェア

マーケットセグメント		国内旅行	海外旅行
家族旅行	乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行(小中高生を含まない)	26.7	22.9
	小中高生の子どもと一緒にの家族旅行(乳幼児連れも含む)	5.2	3.4
	12歳以上のみの家族旅行	12.0	8.2
	18歳以上のみの家族旅行	9.5	11.4
	※内、3世代家族旅行	7.5	4.8
夫婦・カップル旅行	カップルでの旅行	36.1	33.0
	夫婦での旅行(子どもなし)	8.7	5.4
	子育て中の夫婦での旅行	9.8	10.4
	子育て後の夫婦での旅行	2.1	2.3
友人旅行	未婚男性による友人旅行	15.5	15.0
	既婚男性による友人旅行(子どもなし)	18.7	23.4
	子育て中の男性による友人旅行	4.4	4.2
	子育て後の男性による友人旅行	1.1	0.8
	未婚女性による友人旅行	0.9	0.7
	既婚女性による友人旅行(子どもなし)	2.7	3.8
	子育て中の女性による友人旅行	4.1	6.0
	子育て後の女性による友人旅行	1.2	1.7
ひとり旅	男性のひとり旅	16.5	18.5
	女性のひとり旅	11.0	11.1
その他	5.4	7.4	
全体	2.1	2.2	
	100.0	100.0	

※3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代の旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する。  
※16歳未満の旅行者はアンケート調査の対象となっていないため、上記シェアからは除外。

資料：(公財)日本交通公社作成「JTB旅行実態調査」

(2) 性・年代別にみる同行者別の市場シェア

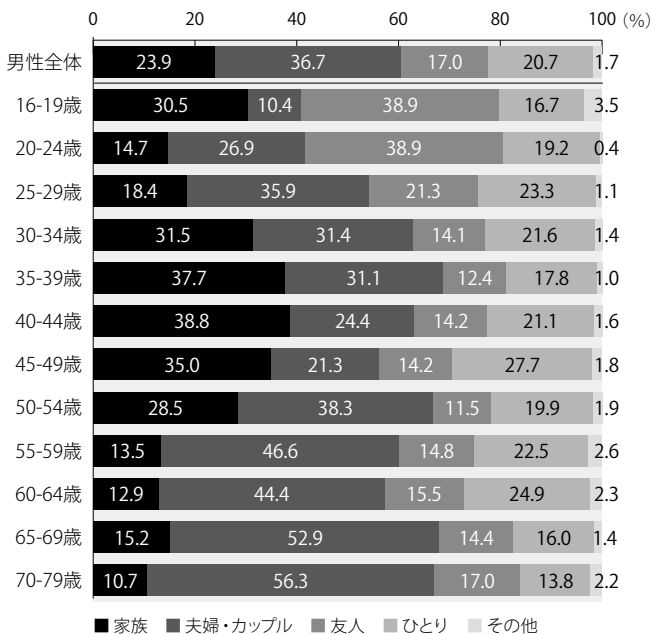
同行者は、年代の移り変わりに伴って変化する。国内旅行についてみると、20歳未満では家族や友人との旅行が中心であるが、20代では家族旅行の割合が低下し、夫婦・カップル旅行の割合が増加する。30代では友人との旅行が減少し、家族旅行の割合が増加する。男女とも、30代から40代にかけて家族旅行が3割を占める。その後、家族旅行のシェアは減少、夫婦・カップル旅行が大きなシェアを占めるようになる。男性はひとり旅の割合が女性よりも高く、65歳未満までの各年代において2割程度を占める。女性は25歳以上の各年代にお

いて、30-34歳を除いて友人との旅行が男性よりも高い割合を占め、この傾向は50歳以上の各年代において顕著である。(図I-1-5、図I-1-7)。

海外旅行についても、基本的な傾向は国内旅行と同様である(図I-1-6、図I-1-8)。ただし、20-24歳では男女とも友人旅行の占める割合が高い。また女性は全体として友人旅行の割合が高く、特に65-79歳の年代において男性の同年代の2倍の比率を示すなど、一部に国内旅行とは異なる傾向も確認された。

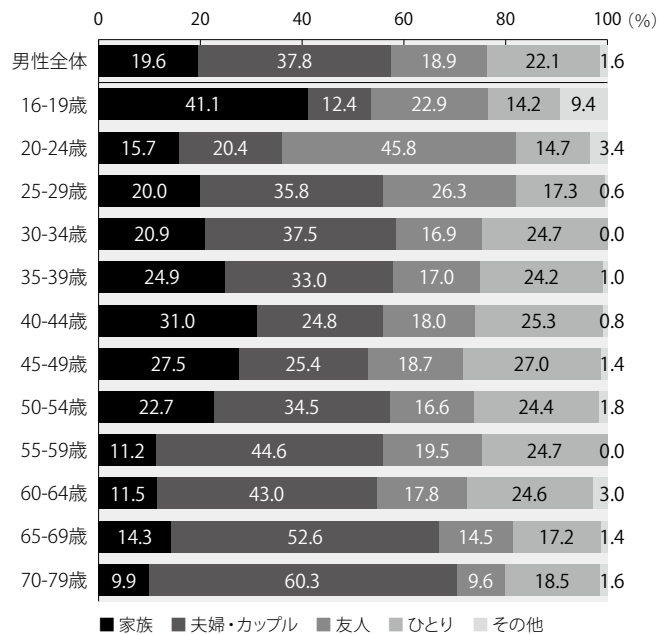
(那須 将)

図I-1-5 国内旅行における年代別同行者(男性)



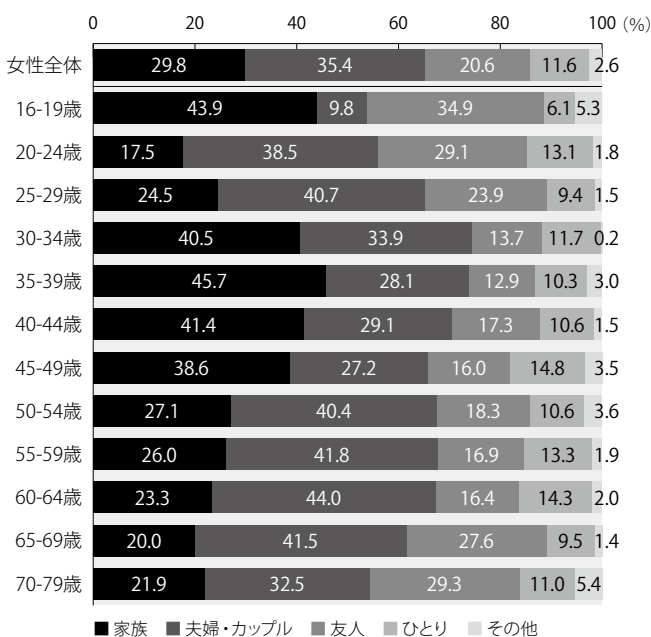
資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図I-1-6 海外旅行における年代別同行者(男性)



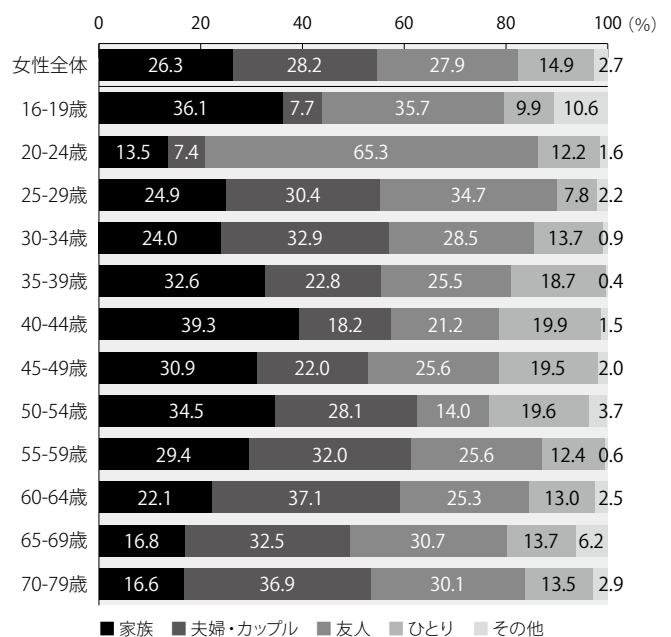
資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図I-1-7 国内旅行における年代別同行者(女性)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図I-1-8 海外旅行における年代別同行者(女性)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」